

総 評

数学がたいへん難しく、社会と国語も難しめで、全体としても難しめの出題となりました。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実践的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。スムーズに受験勉強を始めるために、1・2年内容を完璧にしておきましょう。

国 語

難しい出題でした。

㊦は、(5)の得点率が低くなりました。「冬」を書けていない人が多かったです。㊦は、問四が得点率がやや低くなりました。空欄の後の「二つの項目」という言葉に着目して、【グラフ2】から項目を二つ取り上げる必要がありましたが、一つしか取り上げていない解答が見られました。㊦は、問六の得点率が低くなりました。「直喩」の表現について確認しておきましょう。㊦は、問四(2)の得点率がとても低くなりました。傍線部の「フィードラー」や「絵描き」という言葉をキーワードにして抜き出す部分を探すと、見つけやすかったのではないのでしょうか。㊦は、問三②の得点率が低くなりました。「生まれる」や「誕生する」といった要素が含まれていない解答が多く見られました。

数 学

難しい出題でした。

①はいずれも基本問題ですが、計算や等式の変形では符号の誤りなどのケアレスミスが目立ちました。まちがえた原因を分析し、くり返さないようにしましょう。問7は「当てはまる整数」を答える問題ですが式や言葉で答えたものが散見されました。②データの活用は重要単元。用語の意味を押さえ、代表値や相対度数、累積相対度数の求め方などを確認しましょう。③は、直線の式の求め方や2直線の交点の求め方を確認しましょう。④問2の証明では、問1の角度を使った解答が散見されました。問1内の条件はその問いでのみ有効です。入試でも同様ですので慣れておきましょう。

⑤は中1内容。作図の基本や体積の公式、おうぎ形の面積や弧の長さの求め方を確認しておきましょう。

社 会

難しい出題でした。

地理分野では、②問2や④問1のような基本問題はよくできていましたが、①問6(1)の資料を使った問題や問4の記述問題の得点率が特に低くなりました。記述問題は、問われたことを答えていない解答や、条件に従っていない解答が目立ちました。解答を作成する際は、問題文をよく読み、書き終わったあとに自分の解答があたえられた条件に沿ったものになっているかどうかを確認するようにしましょう。

歴史分野では、③問5、⑤問4、⑦問2の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。年代に関する問題を苦手としている人は、教科書の年表などを利用して歴史の流れを確認しておきましょう。

理 科

標準的な難易度の出題でした。

①は問3が難しかったようです。各消化液などがどの物質にはたらくかをよく確認しておきましょう。②は、動物の分類について、基礎的な内容が多く出題されました。間違えたものはしっかりと復習しましょう。③は、問3を間違えた人が多かったようです。音の高低と弦の長さ・張り、大きさと弦をはじく強さの関係を確認してください。④は難しい問題がなかったこともあり、全体によくできていました。⑤は問3と問4が難しくなりました。

全体に、基本的な問題は出来ているものの、計算問題や、思考するような応用的な問題を間違えた人が多いようです。実践的な問題の演習を繰り返し、応用的な問題への対応力を身に着けましょう。

英 語

標準的な出題でした。

①問2の会話文の応答の問題では、問題が読まれる前に、あらかじめ選択肢に目を通しておきましょう。

②は問2(1)の数字を答える問題で得点率が低くなりました。数字、曜日、天気に関する英単語は、スペルミスを含まずに書けるようにしましょう。

③A問3の会話の空欄補充では英文の流れを正確につかむことがポイントです。Cは問3のhow aboutと答える問題で得点率が低くなりました。

④の英作文はそれぞれの条件に従いながら、スペルミスや文法ミスを含まない英文を書きましょう。

英語では①のリスニングの試験時間が約12分間で、②～④までを残りの約38分で解答しなければなりません。時間配分に注意しながら問題を解きましょう。